

## 研究構想図

令和8年度 大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校

# 研究構想図

### 【学校の教育目標】

## 心豊かで たくましい生徒

### 【昨年度の研究の成果と課題より】

- 課題に対して見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとする生徒が多い。
- 課題解決のために、小集団の仲間と協力し、支え合い、探究し合う学習形態をつくることで、多くの生徒が対等に学び合うことができている。
- 円滑な人間関係が形成されており、わからなければ尋ねる、尋ねられたら仲間のわからなさに寄り添い、共に考えることができている。
- ▲1割の生徒が、授業の見通しがもてず、学ぶ楽しさを感じられていない。
- ▲発展的な課題や活用を意図した学習内容において、試行はするものの、うまくいかないと諦めてしまう生徒もあり、粘り強く課題解決に向かう姿が十分とは言えない。

### 【今日的課題から】

- 急速な技術の発展や経済状況の変化により、不安定さが増している。このような社会においては、自ら考え、適切に判断し、主体的に選択する力が求められる。また、ひとりひとりが自立した存在として行動するとともに、多様な人々と協力しながら支え合う「共生社会」の実現も重要である。そのためには、生徒が自ら探究し行動する力と、他者を尊重し協働する姿勢を身に着けることが必要である。
- 生涯にわたって学び続ける力や主体的に考える力をもった人材を育成するために、従来のような知識詰め込み型中心の授業から、教師と生徒、生徒相互が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、生徒が主体的に問題を発見し解を見出していく「主体的・対話的で深い学び」への転換が必要である。

### 【研究主題】

## 生徒が主体的に探究し続ける授業の創造

### 《研究仮説》

生徒の実態から、身に付けさせたい力に基づいた学習課題や学習形態の在り方を各教科で明確にすることで、単位時間の指導において教科の特性を生かした学習を行う。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習課題の精選を行い、対話的活動で得た学びや、単位時間や単元における自己の変容を生徒自身が実感することを通して、主体的に探究し続ける生徒を育成することができる。

### 《研究内容》

- 1 協同的な学びの在り方
- 2 教科における「見方・考え方」を明確にした「学習課題（問い）」の精選
- 3 学びの実感を得られる評価の工夫

### 【研究方法】

- 1 教科の特性や身に付けさせたい力に基づいた学習形態の工夫
- 2 主体的・対話的で深い学びを実現するために、教科における「見方・考え方」の発見や習得を行う「第1課題（共有の課題）」の設定と「第1課題」を応用・発展させ、思考し続けるための「第2課題（深めの課題・ジャンプの課題）」の精選と設定
- 3 対話的活動で得た学びや、単位時間や単元を通して感じた自己の変容を実感する評価の工夫